

第二部 紀 要

I 業 績

1. 健康科学部門

吉川 弘明

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学学生生活部会委員
- ・ 金沢大学安全衛生作業部会委員
- ・ 金沢大学安全衛生委員会委員
- ・ 金沢大学教務・学生委員会委員
- ・ 金沢大学共通教育委員会委員
- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」推進責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 1コマ担当。
- ・ 医学部神経内科系統講義「神経筋接合部疾患および筋疾患」(後期、宝町) 1コマ担当。
- ・ 自然科学研究科(前期課程)医療薬学専攻「臨床薬物治療額」6/6コマ担当

学内での診療活動

- ・ 附属病院神経内科外来担当(水曜日午前)
- ・ 附属病院セカンド・オピニオン外来担当(重症筋無力症)

学内講演

- ・ 2007. 11. 13 北陸地区国立大学法人等人事労務研修 「職員の健康管理」
- ・ 2008. 1. 31 第174回共同学習会 発表者(コミュニケーション・プレイスについて-学生支援 GP シリーズ第一回-)
- ・ 2008. 2. 4 金沢大学学生支援 GP フォーラム 講演3 「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」

学会発表

- ・ 吉川弘明、足立由美、本崎裕子、古川 裕、枝廣茂樹、丸田高広、岩佐和夫、山田正仁、村井弘之：重症筋無力症の疫学的調査-治療の現状を中心に-。第48回日本神経学会総会 於名古屋国際会議場 2007. 5. 16~18.
- ・ 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 侃：金沢大学における感染症対策(2)-新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析-。第45回全国大学保健管理研究集会 於別府ビーコンプラザ 2007. 10. 11~12.
- ・ 丸田高広、吉川弘明、深澤秀一、稲岡義浩、梅下 翔、古川 裕、本崎裕子、枝廣茂樹、岩佐和夫、山田正仁：重症筋無力症における新規バイオマーカー：抗骨格筋ジヒドロピリジン受容体抗体の検出、第19回日本神経免疫学会、金沢、2007. 4. 12-13

- ・ 丸田高広、吉川弘明、岩佐和夫、山田正仁 他：重症筋無力症重症筋無力症の抗リアノジン受容体抗体における IgG subclass 解析、第 48 回日本神経学会総会、三重、2007. 5. 16-18
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林 佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 侃 金沢大学における感染症対策 (3) —在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析—、第 45 回全国大学保健管理研究集会、大分、2007. 10. 10-11

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医
- ・ 日本神経学会 専門医
- ・ 全国大学保健管理協会 評議員
- ・ 日本神経免疫学会 評議員
- ・ 日本神経治療学会 評議員
- ・ 米国神経学会会員
- ・ 日本産業衛生学会会員
- ・ 日本臨床薬理学会会員
- ・ 日本免疫学会会員
- ・ 日本ワクチン学会会員

学会論文査読

2007 (平成 19) 年度 英文国際紙 2 編

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 基盤研究 (C) 「重症筋無力症自己抗体のスペクトラムに関する研究」主任研究者 (平成 19 年-22 年)
- ・ 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- ・ 文部科学省 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援 GP) 選定 (平成 19 年-22 年) 「心と体の育成による成長支援プログラム -社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成-」
- ・ 平成 19 年度受諾研究「香りの健康心理学的効果と個人要因に関する研究」(花王株式会社との共同研究) 分担研究者

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 吉川弘明、古川 裕、本崎裕子、枝廣茂樹、丸田高広、岩佐和夫、山田正仁：重症筋無力症に対するタクロリムスの薬理学的作用 -サイトカインネットワークの視点から-、厚生省特定疾患対策研究事業・免疫性神経疾患に関する調査研究・平成 18 年度研究報告書、pp134-136, 2007
- ・ 吉川弘明、丸田高広、深澤秀一、稲岡義浩、梅下 翔、古川 裕、本崎裕子、枝廣茂樹、岩佐和夫、山田正仁：重症筋無力症における新規バイオマーカーの同定：抗骨格筋ジヒドロピリジン受容体抗体の意義について、厚生省特定疾患対策研究事業・免疫性神経疾患に関する調査研究・平成 18 年度研究報告書、pp146-147, 2007
- ・ 文部科学省 平成 19 年度新たなニーズに対応した学生支援プログラム事例集 73-78.
- ・ 吉川弘明：新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援 GP) の紹介、COM. CLUB 広報。

(論文)

- Takamori M, Motomura M, Fukudome T, Yoshikawa H. Autoantibodies against M1 muscarinic acetylcholine receptor in myasthenic syndrome Eur J Neurol. 2007 Nov;14(11):1230-5
- Nakata M, Kuwabara S, Kawaguchi N, Takahashi H, Misawa S, Kanai K, Tamura N, Sawai S, Motomura M, Shiraishi H, Takamori M, Maruta T, Yoshikawa H, Hattori T. Is excitation-contraction coupling impaired in myasthenia gravis? Clin Neurophysiol. 2007 May;118(5):1144-8
- 吉川弘明 金沢大学の感染症対策 -学生支援の視点より-. 大学と学生 48: 46-51, 2007
- 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣: 金沢大学における感染症対策 (2) -新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析-. CAMPUS HEALTH, 45(2), 251-256, 2008.3
- 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣: 金沢大学における感染症対策 (3) -在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析-. CAMPUS HEALTH, 45(2), 257-262, 2008.3.

(教科書執筆)

- 吉川弘明 全身型重症筋無力症に術前ステロイド治療を行うポイントは. 岡本幸市、棚橋紀夫、水澤英洋 (編) EBM 神経疾患の治療 2007-2008 中外医学社, pp441-444, 2007
- 吉川弘明 重症筋無力症. 金澤一郎、河原仁志 (編) 誰にでもわかる神経筋疾患 119 番 日本プランニングセンター, pp194-204, 2007
- 吉川弘明、山田正仁 重症筋無力症. 奈良信雄 (編) 疾患からまとめた病態生理 FIRST AID メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp530-532, 2007
- 吉川弘明、山田正仁 周期性四肢麻痺. 奈良信雄 (編) 疾患からまとめた病態生理 FIRST AID メディカル・サイエンス・インターナショナル, pp536-538, 2007
- 吉川弘明 健康論 金沢大学「大学・社会生活論」テキスト編集会議 (編) 知的キャンパスライフのすすめ -スタディ・スキルズから自己開発へ- 学術図書出版社. pp105-112, 200

学外講演

- 8月27日～31日 金沢大学公開講座「心と体の健康」講師 1/4 コマ担当
- 4月13日 第1回神奈川MGフォーラム 横浜 「重症筋無力症の最近の治験と新しい治療への展開」
- 7月9日 第14回予防接種に関する検討会 厚生労働省 東京 「金沢大学における感染症対策」
- 7月26日 麻しん対策連絡会 (石川中央保健所 主催) 金沢 「金沢大学における感染症対策」
- 10月27日 第7回青森MG研究会 青森 「重症筋無力症の病態と治療」
- 11月26日 信州大学衛生管理者・安全管理者研修会 松本 「金沢大学における感染症対策」
- 12月16日 Headache Clinical Seminar Program 東京 「頭痛診療向上のために」
- 3月28日 Headache Clinical Seminar 金沢 「慢性頭痛について」

学外における社会貢献活動

- 厚生労働省・難治性疾患対策研究事業「免疫性神経疾患に関する研究」班・分担研究者
- 日本多発性硬化症協会 医学顧問
- Mayo Neuroscience Forum 幹事

特許

出願日：2007.10.10

出願番号：特願 2007-264623

出願者：金沢大学

発明者：丸田高広、吉川弘明

発明の名称：ジヒドロピリジン受容体抗体レベルに基づく胸腺腫合併重症筋無力症の診断方法

鈴木 健一

学内委員会など

- ・ 学生相談専門委員会委員
- ・ 学生サポートガイドブック編集委員長
- ・ きいつけまっし編集委員会委員
- ・ ハラスメント相談員（助言者）
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員
- ・ 入学試験委員会委員

学内での教育的活動

- ・ 「カウンセリングの初歩」（共通教育後期） 15コマ/15を担当。
- ・ 「臨床心理学特論2」（教育学研究科前期） 15コマ/15を担当。
- ・ 「大学社会生活論」（共通教育前期） 3クラス 1コマ/15ずつ担当
- ・ ランチョンセミナー（4/26）
- ・ 保健学科ティーアワー出席（12/11）

学内講演

- ・ 6/8 平成19年度北陸地区国立大学法人等初任者研修 講師
- ・ 6/21 ハラスメント研修会 講師
- ・ 8/3 平成19年度第1回学生支援（相談）研修会 講師
- ・ 9/25 平成19年度第2回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師
- ・ 第161回共同学習会 発表者（10/18）（FD義務化と学生支援・学生相談）

学会発表

- ・ 日本心理臨床学会 シンポジウム「外国で学んだ日本人心理臨床家から」－セラピー力を高めるために－ 司会 於東京国際フォーラム 2007.9.27～30
- ・ 日本心理臨床学会 自主シンポジウム「留学生として日本で心理臨床を学ぶ」 話題提供者 於東京国際フォーラム 2007.9.27～30
- ・ 足立由美、鈴木健一、青野透「学生生活調査から見たカウンセリング活動－金沢大学保健管理センターの実績と今後の方向性－」日本学生相談学会第25回大会 於山梨英和大学 2007.5.19～21.
- ・ 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 仰「金沢大学における感染症対策（2）－新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析－」第45回全国大学保健管理研究集会 於別府ビーコンプラザ 2007.10.11～12.

- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣「金沢大学における感染症対策（3）－在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析－」第 45 回全国大学保健管理研究集会 於別府ビーコンプラザ 2007. 10. 11～12.

学会における貢献

- ・ 日本心理臨床学会 国際交流委員会委員
- ・ 日本学生相談学会第 26 回大会準備委員会 準備委員長
- ・ 日本学生相談学会理事 国際交流委員会委員
- ・ 日本精神分析学会 会員
- ・ William Alanson White Institute for Psychoanalysis and Psychotherapy Corresponding Member
- ・ 平成 19 年度東海北陸地区メンタルヘルス研究協議会実行委員会委員
- ・ 石川県臨床心理士会幹事 スクールカウンセラー担当

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 鶴田和美・鈴木健一 学生相談の事例研究の進め方 第 45 回全国学生相談研修会報告書 p. 44-45 (平成 20 年 3 月発行)

(論文)

- ・ 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣：金沢大学における感染症対策（2）－新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析－. CAMPUS HEALTH, 45(2), 251-256, 2008. 3
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣：金沢大学における感染症対策（3）－在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析－. CAMPUS HEALTH, 45(2), 257-262, 2008. 3.

学外講演

- ・ 4/3 「子どもたちの心のケア研修会」（輪島市及び穴水町の小・中学校教員対象） 講師
- ・ 6/19 石川県教育委員会中学校教育相談推進会議 講師
- ・ 8/7 石川県教育委員会いじめ対応実践講座（宝達志水町） 講師
- ・ 8/27～31 金沢大学公開講座「心と身体の健康」講師（第 4 回「無意識を旅する」） 1/4 コマ担当
- ・ 11/19～11/21 第 45 回全国学生相談研修会 講師
- ・ 3/7 石川工業高等専門学校教職員対象講演会 講師

学外における社会貢献活動

- ・ 能登半島地震支援 臨時スクールカウンセラー
- ・ 平成 19 年度石川県スクールカウンセラー
- ・ 平成 19 年度金沢市巡回専門相談員

足立 由美

学内委員会など

- ・ 金沢大学学生相談専門委員会委員
- ・ 金沢大学障害学生支援委員会委員

- ・ 金沢大学学生支援 GP「心と体の育成による成長支援プログラムー社会に幸せをもたらす生活の知恵をもった学生の育成ー」推進副責任者・学生支援 GP プロジェクトメンバー
- ・ ピア・サポート・ルーム専門スーパーバイザー
- ・ なんでも相談室相談員

学内での教育的活動

- ・ 教育学研究科選択科目「教育心理学特論」(後期、角間) 15/15 コマ担当。
- ・ 2007. 7. 17 3 寮執行部との懇談会出席 (泉学寮)
- ・ 2007. 12. 4 保健学科ティーアワー出席
- ・ 2008. 2. 7 3 寮執行部との懇談会出席 (白梅寮)

学内講演

- ・ 2007. 4. 10 平成 19 年度第 1 回学生相談研修会：なんでも相談員研修会講師
- ・ 2008. 2. 14 サークルリーダー研修会講師 (学生支援 GP について)
- ・ 2008. 3. 19 平成 19 年度第 2 回学生支援 (相談) 研修会講師
- ・ 2008. 1. 31 第 174 回共同学習会 発表者(コミュニケーション・プレイスについてー学生支援 GP シリーズ第一回ー)

学会発表

- ・ 吉川弘明、足立由美、本崎裕子、古川 裕、枝廣茂樹、丸田高広、岩佐和夫、山田正仁、村井弘之「重症筋無力症の疫学的調査ー治療の現状を中心にー」第 48 回日本神経学会総会 於名古屋国際会議場 2007. 5. 16~18.
- ・ 足立由美、鈴木健一、青野透「学生生活調査から見たカウンセリング活動ー金沢大学保健管理センターの実績と今後の方向性ー」日本学生相談学会第 25 回大会 於山梨英和大学 2007. 5. 19~21.
- ・ 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 帆「金沢大学における感染症対策 (2)ー新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析ー」第 45 回全国大学保健管理研究集会 於別府ビーコンプラザ 2007. 10. 11~12.
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 帆「金沢大学における感染症対策 (3)ー在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析ー」第 45 回全国大学保健管理研究集会 於別府ビーコンプラザ 2007. 10. 11~12.

学会における貢献

- ・ 日本学生相談学会第 26 回大会準備委員会事務局長
- ・ 日本心理臨床学会会員
- ・ 日本健康心理学会会員
- ・ 日本教育心理学会会員
- ・ 日本公衆衛生学会会員

研究助成等

- ・ 平成 19 年度共同研究「香りの健康心理学的効果と個人要因に関する研究」(花王株式会社との共同研究) 主任研究者
- ・ 文部科学省・日本学術振興会 科学研究費 基盤研究 (C)「大学評価指標における「学生支援」の位置づけに関する実証的研究 (研究代表者 青野 透)」(平成 18-19 年度) 平成 19 年度研究分担者

論文・報告書等

(報告書)

- ・ 文部科学省 平成 19 年度新たなニーズに対応した学生支援プログラム事例集 73-78.
- ・ 「新たなニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援 G P)」教職員必携 学生サポートガイドブック 2008 106-107.
- ・ 「障害とは何か」教職員必携 障害のある学生へのサポートブック 2008 年度版 2-9.

(論文)

- ・ 足立由美・安住伸子「学生相談室を利用するきっかけについて -利用者データベースと学生生活実態調査からの分析-」学生相談研究 Vol. 28, No. 2 pp. 113-121 2007. 11
- ・ 足立由美・井上健「女子大学生の食行動と心身自覚症状の関連 -UPI と食行動調査を用いての検討-」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 45 No. 2 pp. 141 -146 2008. 3
- ・ 吉川弘明、足立由美、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣「金沢大学における感染症対策 (2) -新入生に対する健康調査結果と抗体検査結果の分析-」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 45 No. 2 pp. 251 -256 2008. 3
- ・ 足立由美、吉川弘明、宮崎節子、田上芳美、林佳子、亀田真紀、鈴木健一、岩田恭宜、内山勝晴、古川 俣「金沢大学における感染症対策 (3) -在校生に対する抗体検査実施と抗体の有無の出生年分析-」全国大学保健管理協会 CAMPUS HEALTH Vol. 45 No. 2 pp. 257 -262 2008. 3

学外講演

- ・ 8 月 27 日-31 日 金沢大学公開講座「心と体の健康」講師 (パーソナリティと健康) 1/4 コマ担当

学外における社会貢献活動

- ・ 2007. 8. 30 「能登半島地震における神経難病患者の身体・社会的被害と心身の障害に関する調査」研究ミーティング 参加 (七尾市保健所)

岩田 恭宜

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学安全衛生委員会委員

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」(前期、角間) 1 コマ担当。
- ・ 医学部腎臓内科系統講義「腎と高血圧」(後期、宝町) 1 コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 附属病院腎臓内科外来担当 (水曜日午前)

学会発表

- ・ Yasunori Iwata, Takashi Wada, Kengo Furuichi, Norihiko Sakai, Ikuro Maruyama, Kouji Matsushima, and Shuichi Kaneko : Dendritic cells contributes to autoimmune kidney injury in MRL-*FasIpr* mice. American Society of Nephrology 2007 San Francisco, USA 2007. 11. 2
- ・ 岩田恭宜、和田 隆志、古市 賢吾、坂井 宣彦、丸山 征朗、松島 綱治、金子 周一 : 自己免疫性腎障害における樹状細胞の関与. 第51回日本リウマチ学会総会、横浜、2007. 4. 26-29

- ・ 岩田恭宜、和田 隆志、古市 賢吾、坂井 宣彦、丸山 征朗、松島 綱治、金子 周一：自己免疫性腎障害における樹状細胞の関与。第35回日本臨床免疫学会総会、大阪、2007.10.19-20

学会における貢献

- ・ 日本内科学会 認定医、専門医
- ・ 日本腎臓学会 専門医
- ・ 日本リウマチ学会 専門医
- ・ 日本産業衛生学会会員
- ・ 日本透析医学会会員
- ・ 日本アフエレーシス学会会員

学会論文査読

2007（平成19）年度 英文国際紙 3編

研究助成等

- ・ 文部科学省・日本学術振興会・科学研究費 若手研究（B）「自己免疫性腎疾患における樹状細胞と細胞内シグナル伝達の関与」主任研究者（平成19年-20年）

論文・報告書等

（論文）

- ・ Iwata Y, Wada T, Yokoyama H, Toyama T, Kitajima S, Okumura T, Hara A, Yamahana J, Nakaya I, Kobayashi M, Kitagawa K, Kokubo S, Yoshimoto K, Shimizu K, Sakai N, Furuichi K, Koshino Y, Takeda S, Takasawa K, Ohta S, Takaeda M, Takaeda C, Kaneko S: Effect of sevelamer hydrochloride on markers of bone turnover in Japanese dialysis patients with low bioactive PTH levels. Intern Med 46, 447-452, 2007

内山 勝晴

学内委員会など

- ・ 金沢大学産業医
- ・ 金沢大学安全衛生委員会委員

学内での教育的活動

- ・ 共通教育科目 大学社会生活論「健康論」（前期、角間） 1コマ担当。
- ・ 医学部循環器内科系統講義「心臓弁膜症」（前期、宝町） 1コマ担当。

学内での診療活動

- ・ 附属病院循環器内科外来担当（火曜日午前）

学内講演

- ・ 2007.6.8 ランチョンセミナー「AED講習会」
- ・ 2007.6.13～29 熱中症対策および心肺蘇生/AED講習会

学会発表

- ・ 内山勝晴、井野秀一、藤野 陽、林 研至、坂田憲治、舛田英一、坪川俊成、坂元裕一郎、舟田 晃、山岸正和：Impact of Left Ventricular Systolic Dysfunction on QT Dispersion and Associated Fetal Arrhythmia in Hypertrophic Cardiomyopathy. 第72回日本循環器学会総会・学術集会 於福岡国際会議場

他 2008. 3. 28～30

・申 寿東、内山勝晴、井野秀一、藤野 陽、林 研至、坂田憲治、舛田英一、川尻剛照、高田睦子、坂元裕一郎、坪川俊成、舟田 晃、土田真之、多田隼人、森 三佳、高村雅之、岡島正樹、山岸正和、八木邦公：急性期に心破裂を来した後壁心筋梗塞の一部検例. 第 114 回日本循環器学会北陸地方会 於金沢医科大学
2007. 7. 1

学会における貢献

- ・日本内科学会会員
- ・日本循環器学会員学会
- ・日本心臓病学会員
- ・日本心血管インターベンション学会員
- ・日本不整脈学会員

学会論文査読

2007 (平成 19) 年度 Circulation journal 誌 1 編

学外講演

2007 (平成 19) 年度

- ・3月7日～8日 KCC Live demonstration Local Faculty & Live Commentator

2. スポーツ教育部門

北浦 孝

学内委員会など

- ・共通教育「身体・スポーツ系」代表幹事
- ・共通教育テーマ別・一般科目委員会委員

学内での教育的活動

- ・「体カリフレッシュ・導入科目」(前期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・「テニス・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・「ソフトボール・実技」(前期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・「サッカー・実技」(前期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・「バスケットボール・実技」(後期) 2コマ 15回/15週を担当
- ・「Jog&Circuit トレーニング・実技」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・「パワートレーニング・演習」(後期) 1コマ 15回/15週を担当
- ・「自然研学大学院薬学研究科運動生理学」後期 1コマ 15回/15週を担当
- ・アメリカンフットボール部 顧問
- ・チア・リーダー部 顧問
- ・アスレチックトレーナー部 顧問

学会発表

- ・54rd American College of Sports Medicine 「Distinct effects of Clenbuterol on Numb of rat

soleus and EDL muscles.] Takashi Kitaura, New Orleans (Louisiana) May 30, 2007 (2007年5月30日)

- ・ 第62回日本体力医学会:「高気圧・高酸素環境による糖尿病ラットのヒラメ筋の変化」、上田晃一, 石原昭彦, 金丸雄志, 松本亜希子, 北浦 孝. 秋田経済法科大学(秋田)(2007年9月15日)
- ・ 第62回日本体力医学会:「クレンブテロール投与によるラット心筋への影響」、金丸雄志, 上田晃一, 北浦 孝. 秋田経済法科大学(秋田)(2007年9月16日)

学会における貢献

- ・ アメリカスポーツ医学会 特別会員 (Fellow)
- ・ 日本体力医学会 評議員
- ・ 日本生理学会 会員
- ・ 日本生物物理学会 会員
- ・ 日本薬理学会 会員
- ・ 日本生化学会 会員
- ・ 日本電気泳動学会 会員

学会論文査読

2007(平成19)年度 日本生理学会会誌 1編

研究助成等

平成17-18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))

- ・「ドーピング規制薬物を利用したトレーニング適応の分子機構の解析」

論文・報告書等

(報告書)

- ・ ドーピング規制薬物を利用したトレーニング適応の分子機構の解析 北浦 孝(金沢大学保健管理センター) 平成17-18年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 研究報告書 p.1-67(平成19年3月発行)

(論文)

- ・ Kitaura T. Distinct effects of Clenbuterol on Numb of rat soleus and EDL muscles. Med. Sci. Sports Exerc. (2007) 39(5); S224,
- ・ 上田晃一, 石原昭彦, 金丸雄志, 松本亜希子, 北浦 孝. 高気圧・高酸素環境による糖尿病ラットのヒラメ筋の変化. 体力科学(2007) 56(6);617
- ・ 金丸雄志, 上田晃一, 北浦 孝. クレンブテロール投与によるラット心筋への影響. 体力科学(2007) 56(6);875
- ・ Kitaura T. Effects of clenbuterol on Notch1 of male rat skeletal muscles. Med. Sci. Sports Exerc. (2006)38(5); S546
- ・ Ueda K, Kanemaru Y, Kitaura T. Effects of clenbuterol on Notch signaling of rat skeletal muscles. 体力科学(2006) 55(6);908

学外における公的活動

- ・ 北陸アメリカンフットボール協会 副理事長
- ・ 石川県アメリカンフットボール協会 副理事長

村山 孝之

学会発表

- ・第17回運動学習研究会 「“あがり”の発現機序の質的研究」 於慶應義塾大学 2007.6.16.
- ・日本体育学会 第58回大会 「時間切迫が運動スキルの遂行に及ぼす影響」 於神戸大学 2007.9.6.
- ・石村宇佐一、衛藤晃平、村山孝之 「中学校体育授業におけるメンタルトレーニングプログラムの検討」 日本体育学会 第58回大会 於神戸大学 2007.9.6.
- ・Asia-Pacific Conference on Exercise and Sports Science 「Qualitative Research on the Mechanism of Choking Under Pressure」 in Hiroshima University, 2007.12.8.

学会における貢献

第3回アジア・太平洋スポーツ科学会議 実行委員会委員

(Asia-Pacific Conference on Exercise and Sports Sciences, 2007)

論文・報告書等

(論文)

- ・村山孝之、古 章子、石村宇佐一 (2007) ライフル射撃選手への心理的スキルトレーニングー心理的変容の質的分析ー. 広島体育学研究, 33 : 11-17.
- ・村山孝之、田中美吏、菅井若菜、関矢寛史 (2007) 時間切迫が運動スキルの遂行に及ぼす影響. 体育学研究, 52 : 443-451.

(研究報告書)

- ・村山孝之 (2007) ‘あがり’の発現機序の質的研究. 運動学習研究会編 第17回運動学習研究会報告集, pp. 1-7.
- ・村山孝之 (2008) ‘あがり’の発現機序の質的研究. ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS) スポーツチャレンジ研究助成 研究成果報告集, pp. 24-32.
- ・村山孝之 (2008) ‘あがり’の発現構造要因間の関係性の検討. ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS) スポーツチャレンジ研究助成 研究成果報告集, pp. 33-39.

学外での教育的活動

(非常勤講師)

- ・広島大学総合科学部「健康スポーツ科学実験A・実験法A」(前期) 3コマ/15コマを担当。
- ・広島国際大学工学部「生涯スポーツ理論・実技1」(後期) 15コマ/15を担当。
- ・広島国際大学工学部「スポーツII」(後期) 15コマ/15を担当。

(技術補佐員)

- ・広島大学 総合科学研究科 (前期)

学外講演

- ・2/22 (2008年) ・「ピークパフォーマンス発揮のためのメンタルトレーニング」(広島大学体育会対象) 講師